

ペンギンの会 ニュース

No. 27 2012. 5

いつもペンギンの会を支えてくださっている皆さん、いかがお過ごしでしょうか？
私事ですが、今年も昨年秋から偏頭痛がひどく、一月のうち十日以上も一晩中唸っていました。（薬が効かないのと、あまり使えないので）ここ数年の中では精神的にもまいってしまっていたのか、何もやる気が起こらない半年でした。
ですが、4月に入り専従と2人で桜を愛でることができ、幹にも触れさせてもらえて、この間のたまっていたストレスがだいぶ癒された感じがしました。
やはり、しんどい時でも外に出ないとダメですね…。

震災から1年が過ぎ、3.11には四条河原町でJCILのみなさんと介護の人たち、参加してくれた人たちと一緒に街頭カンパを行いました。底冷えがする日で、夕方には歯がカチカチと鳴ってきて、体もふるえながら叫んでいました。思ったよりビラも全部はけたようで、本当に感謝でした。今年も引き続き、街頭に立って被災地の状況を伝えていかなければと思っています。5月27日には震災関連のイベントも予定しています。みなさんも、ぜひ参加してください。いろいろな思いを共有できる機会になればと思います。ペンギンの会のメンバーはそれぞれ病気を抱えながら、なんとか毎日目を凌いでやっていっています。年々、体がきつくなってきていて、ちゃんと生きていくのがしんどい時も多いです。それでも、工夫しながら今を維持させていかななくてはならないし、そろそろこれから先のことも、それぞれの考えを出し合いながら前向きに話し合う機会を持ってゆきたいと個人的にはいろいろと考えています。

みなさんも、それぞれの生活の場でいろいろとあると思いますが、立ち止まることはあっても、一步一步前に向かって共に歩んでいってくださいね。これからもペンギンの会をよろしく願います。支え続けてください。



イチョンミ
李清美

しじょうかわらまち ひさいしょうがいしゃしえん がいとう
四条河原町での被災障害者支援 街頭カンパ

シンポジウム + 意見交換会

さいがい しょうがいしゃ じりつせいかつ
災害と障害者の自立生活

1・17 ~ 3・11 ~ それから ~

にちじ ねん がつ にち にち
日時 2012年 5月27日 (日) 14:00~16:30

ばしょ きょうと きょういくぶん か ごうしつ
場所 京都教育文化センター 1F 101号室

とうほく ひがしにほん おそ みぞう だいさいがい ねん
東北・東日本を襲った未曾有の大災害から1年あまり。

げんぱつ に じさいがい こうむ なか とうほく ひさいち じりつせいかつ つづ しょうがいしゃ お
原発の二次災害をも被る中、東北の被災地で自立生活を続ける障害者が居られます。

かた だいしんさい お まえ へいおん なみかぜ た にちじょう じりつせいかつ かいごしゃ
その方たちは、大震災が起こる前の、平穏で波風立たない日常の自立生活で、介護者、また

さまざま かたち かなか ひと きず こ
は、様々な形で関わる人たちとのネットワークを築いて来られました。

だいしんさいはっせいちよくご ひ づく つちか もと
そして大震災発生直後には、日ごろのネットワーク作りで培われたつながりを基に、

ひさいちしょう しゃしえん た あ さいがい とどこ かいじょ ふっきゅう
「被災地障がい者支援センターふくしま」を立ち上げられ、災害で滞った介助サービスの復旧、

げんぱつじ こ えいきょう たいさく にちやほんそう
原発事故の影響への対策と、日夜奔走されておられます。

かい こんかい ただんたい みなさま きょうさい
ペンギンの会では、今回、他団体の皆様との共催で、

ふくしまけん こおりやまし ひさいしょうがいしゃ しえん しらいしきよはる
福島県は郡山市にて、被災障害者の支援にあたっておられる、白石清春さん、

ねんまえ はんしんだいしんさい ひさいしょうがいしゃ しえん おこな ふくながとしひさ
17年前の阪神大震災において被災障害者の支援を行われた、福永年久さん、

きょうと ち ひさいち む しえんかつどう おこな やぶきふみとし
京都の地より被災地に向かわれ、支援活動を行っておられる、矢吹文敏さん、

にん じりつしょうがいしゃ かた まね さんかた はなし あと おお
3人の自立障害者の方をシンポジストとしてお招きし、お三方それぞれのお話の後で、大きな

さいがい みま とし わたし ひごろ じりつせいかつ かたち み むす いけん だ
災害に見舞われた時、私たちの日頃の自立生活が、どんな形で実を結ぶのか？といった意見を出

あ ば もう
し合う場を設けます。

くわ じょうほう
※イベントのさらに詳しい情報は、

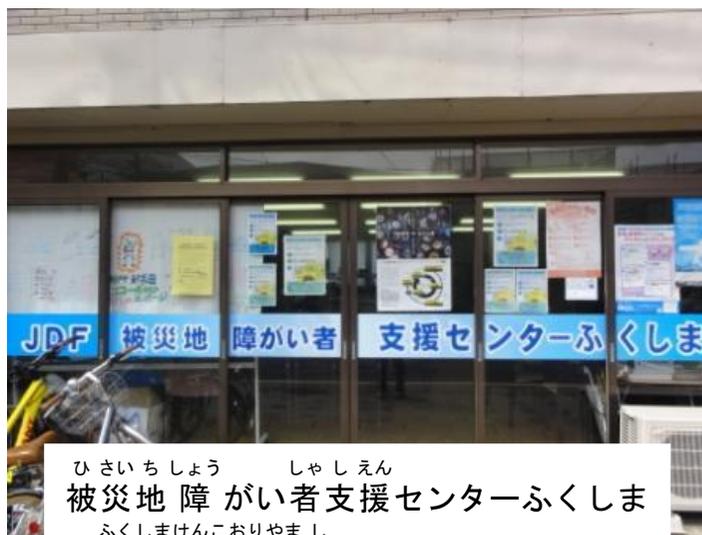
でんわ
お電話もしくは、インターネットにて

いか
以下のURLまで

● <http://www.jcil.jp/20120527.pdf>

(チラシをJCILのホームページにpdf書類

けいさい いただ いんさつ
として掲載して頂いており、そのまま印刷できます)



ひさいちしょう しゃしえん
被災地障がい者支援センターふくしま
ふくしまけんこおりやまし
(福島県郡山市)

ふくしま い

★福島に行ってきました！

がつ にち にち みやけ かいごしゃ
4月15日、16日と三宅さんの介護者

ふくしまけんこおりやまし ほうもん
として福島県郡山市を訪問してきま

こんかい ほうもん ひさいち しゃし
した。今回の訪問は「被災地障がい者支

えん だいひょう つと
援センターふくしま」の代表を務めら

しょうがいとうじしゃ ひさいち しえん
れ、障害当事者として被災地の支援に

しらいしきよはる きょうと
あたっておられる白石清春さんを京都

よ がつ にち おこな
にお呼びして5月27日に行うシンポ

きかく う あ
ジウム企画の打ち合わせのためのもので

みやけ しらいし あお しば かい
した。三宅さんと白石さんは青い芝の会

じだい ふる し あ とうちやく ふたり きかく う あ そうそう き あ さっそくさけ の
時代からの古い知り合いで、到着するなり二人は企画の打ち合わせも早々に切り上げ、早速酒を飲

はじ わらい
みかわし始めておりました（笑）

こおりやまし いっけん ふつう ようす しらいし はなし はしばし こんご
郡山市は一見すると普通の様子でしたが、白石さんやスタッフさんたちの話の端々から今後の

せいかつ ふあん せいふ いきどお かん まち ほんかい たてもの て
生活への不安や政府への憤りをひしひしと感じました。また、街にはまだ損壊した建物が手つか

のこ ところ かくしょ せっち じょうじたか ほうしやせん
ずで残っている所があったり、各所に設置されているモニタリングポストでは常時高い放射線

りょう けいそく しんさい げんぱつじ こ ほうしやせん おせん ひがい お
量が計測されていたりと、震災そして原発事故による放射線汚染の被害はまだまだ終わっていない

つよ かん
いのだと強く感じさせられました。

かいごしゃ たわらこうへい
介護者 田原孝平

こおりやまし せいかつかいご じぎょうしょ あいえる
郡山市の生活介護事業所「たいむⅠL」で
さけ く しらいし みやけ
“酒を酌みかわしてからの”白石さん、三宅さん



こおりやまえきまえ まえ しらいし
JR郡山駅前でのモニタリングポスト前での白石さん



かい ねんど ぎょうじ
◎ 『ペンギンの会』 2011年度の行事・できごと

がつ か
☆4月10日

ひがしにほんだいいしんさいひ さいしょうがいしゃしえん がいとう
東日本大震災被災 障害者支援 街頭カンパ (JCILと合同で行う)
ばしょ しじょうかわらまち ぼきんがく
場所：四條河原町 ※募金額 ¥167,903-

がつ にち
☆5月11日

かいごしゃぼしゅう
介護者募集イベント

えいが
映画

けいじものがたり すじが じんせい じょうえいかい
『啓司物語 一筋書きのない人生』上映会
ばしょ きょうとだいがくぶんがくぶしんかん
場所：京都大学文学部新館

がつ か
☆7月24日

ひがしにほんだいいしんさいひ さいしょうがいしゃしえん がいとう
東日本大震災被災 障害者支援 街頭カンパ
ばしょ しじょうかわらまち ぼきんがく
場所：四條河原町 ※募金額 ¥15,676-

がつ か
☆9月4日

ひがしにほんだいいしんさいひ さいしょうがいしゃしえん がいとう
東日本大震災被災 障害者支援 街頭カンパ
ばしょ しじょうかわらまち ぼきんがく
場所：四條河原町 ※募金額 ¥42,823-



がつ か にち
☆9月24日～26日

かい りょこう
ペンギンの会レクリエーション旅行
ほくりく おんせん
北陸・あわら温泉

とうじんぼう
東尋坊？でのスナッフ
ゆうめい ほんたいがわ
(あの有名なガケの反対側でしょうか?)

げきだんたいへん しんさくぶたいこうえん く さく えんしゆつ キムマルリ
☆「劇団態変」の新作舞台公演 『喰う』（作／演出・金満里さん）

しゆつえん ゆぐちまこと
に出演→湯口真（“キンジス・ハーン”として）

がつ か にち ばしょ いたみ
・ 10月14日～16日 場所：伊丹・アイホール

あとのページで、ユグチの態変公演『喰う』での取り組みについての話を少し。



く こうえん む けいこ ようす
『喰う』公演に向けての稽古の様子
がぞうみぎ
画像右がキンジス・ハーン（ユグチ）

がつ か
☆11月3日

だい かい ひがしくじょう しゆってん
第19回 東九条マダンに出店

ばしょ さんのう しょうがっこう
場所：山王小学校

がつ にち
☆11月29日

ひがしにほんだいいんさいひ さいしょうがいしゃしえん がいとう ごうどう
東日本大震災被災 障害者支援 街頭カンパ（JCILと合同）

ばしょ しじょうかわらまち
場所：四条河原町

ほ きんがく
※募金額 ¥60,050-

ねん がつ か
☆2012年1月14日

しんねんかい
ペンギン新年会

ねん がつ にち
☆2012年3月11日

ひがしにほんだいいんさいひ さいしょうがいしゃしえん がいとう ごうどう
東日本大震災被災 障害者支援 街頭カンパ（JCILと合同）

ばしょ しじょうかわらまち
場所：四条河原町

ほ きんがく
※募金額 ¥86,875-

げきだんたいへん さん か ざっ き ゆ ぐち まこと
★劇団態変 参加雑記 その1 (キンジス・ハーン=湯口 真)

きよねんなつ しゅうまつ きょうと がいと う ぼ きん ひ い が い けい こ
去年夏の週末は、京都での街頭募金の日以外、この稽古にかかりっきりでした。

がつ ほんばん じょうえんちよくご まいかい
10月、本番の上演直後には毎回、“キンジス・ハーン”
やくしゃしょうかい いただ
として役者紹介をして頂いたのですが、
じつ じぶん えんしゅつ せいさく かた むり い ぶ
実は自分から演出や制作の方に無理を言って、この舞
たいめい しゅつえん きよか しょう
台名での出演を許可してもらっていたくせに、いざ紹
かい なん は
介となると、何かスゴい恥ずかしかったです…(*_*;



げきだんたいへん さん か ざっ き
★劇団態変 参加雑記 その2

が ぞうみぎ うつ だんせい かんこく
画像右に写っている男性は、韓国はソウルから、
こんかい く こうえん さん か
今回の『喰う』公演に参加された、
チョン・スナクさんです。
ひょうき かんじひょうき
(ハングル表記・정승락 漢字表記・鄭昇碩)

スナクさんは、
ねん がつ げきだんたいへんかんこくこうえん
2011年3月の劇団態変韓国公演
せんぶくき キムマルリ さく えんしゅつ
『ファン・ウンド潜伏記』(金満里さん作/演出)に、
しゅつえん かた じりつせいかつ てんかい のうせい しゃ
エキストラとして出演された方で、ソウルにて自立生活を展開しておられる脳性マヒ者です。
どうねん がつ らいにち く こうえん しゅつえん
そして、同年10月に来日し、『喰う』公演に出演されました。

こんかい こうえんび ようかかん たいにち
今回、スナクさんは、公演日をふくめた8日間の滞日で、
にほん たいへんこうえんしゅつえん よ おも で どうき
『日本での態変公演出演を良い思い出に…』という動機ではなく、
ちか しょうらい かんこく げきだんたいへん かなら はたあ つよ おも
『近い将来、韓国で劇団態変を必ず旗揚げる』という強い思いのもと、
じゅう しょうが い しんたいげいじゅつ ひょうげん やくしゃ こうえん の き せいこう
重度障害ならではの身体芸術を表現する“役者”として、公演を乗り切り、成功させるため
こころがま しせい じ すこ ぐたいてき まな たいへんやくしゃ おおさか しない じたく
の心構え・姿勢※(次ページで少し具体的に)などを学び、また、態変役者の大阪市内の自宅に
と こ ちいきせいかつしえん きょうどう さぎょうしょ かれ しょくば ほうもん けんがく
泊まり込み、地域生活支援センターや共同作業所といった彼らの職場などを訪問・見学して、
ひ じりつせいかつ ゆうけいむけい ぶたい しんたいひょうげん ちよっけつ たいかん
いかに日ごろの自立生活が、有形無形に舞台での身体表現へと直結しているのかを体感されました。
ようかかん にち キム たいへんやくしゃ たい
また8日間、1日ごとに、金さんや、ベテランの態変役者によるフィードバックがスナクさんに対
おこな たんきかん おお きゅうしゅう きかん
して行われ、短期間で多くのものを吸収して帰韓されました。

ユグチはスナクさんの来日に関しては、主に通訳をして下さる方を募る役目を受け持っていたのですが、留学生を含め、京都からは3名の方々に、通訳を引き受けていただくことができました。

また、急な通訳探しにご協力くださいました皆様、この紙面を借りてお礼申し上げます。
ほんとう
本当にありがとうございました。

※公演を乗り切り、成功させるための心構え・姿勢※ の一例

態変の一連の活動（稽古～本番での劇場入り～楽屋での支度～舞台公演～）の中で、移動・食事・排泄・衣装への着替え・メイク…と、幾種類もの介護の必要な役者が、黒子と呼ばれる健常者スタッフの指示のもと、いわば“受け身で”介護をされながら過ごすのではなく、積極的な自己決定のもと、妥協することなく個別に必要な介護の指示をスタッフに出して、心身ともに最高の状態で舞台に臨める態勢を整えていくこと。

この役者の心構え・姿勢への意識のあるなしが、公演の出来を左右する。

これは障害者・介護者との関係性次第で、普段の自立生活の善し悪しが決まることと同じ。

※

◎2011年4月～2012年3月まで、ペンギンの会に会費・カンパをいただいた皆様
（敬称略・順不同）

☆月会費

三宅光男 小山弘 李清美 湯口真 盧京子 永雄邦子

計 4万9千円

☆カンパ

濱頭直子 江端一起 小栗栖直樹 矢野恵子 皆川夏樹 北門和恵 三雲久子 澤田隆司 堀口美智代
河内啓介 馬庭京子 河村史子 桜井真澄 正司拓生 東真理子 藤田光恵 菅原文子 狛守記孝

湯口憲子 永雄邦子 中原耕 杉山晶 お名前が不明の方1名

計 18万4千円

以上の、会費・カンパをいただきました皆様、

そしてその他ご支援をいただいた皆様に心より感謝を申し上げます。

★ 東日本大震災・被災障害者支援 ペンギン街頭カンパ（6回目）のお知らせ

2012年5月20日（日）

時間：午後2時～午後5時

場所：四条河原町 高島屋前・マルイ前



ペンギンの会では、前年度から、ほぼ2ヶ月

おきに、街頭カンパを行っています。

当日のビラ配りや、カンパ募集のプラカー

ド掲示など、一人でも多くの方にお手伝い

頂ければと考えています。

皆様、ぜひご協力をお願いいたします。

集まった募金は、『被災地障がい者支援センターふくしま』に直接送金され、被災地障害者の支援に活用されます。

▽ニュースの発行、大変おそくなり、5月27日のイベント間際になってしまいました。m()m

すでに初夏です。久々のペンギン主催のイベントです。で、じきに梅雨です。

この集まりならではの“明るさ・元気さ”を参加した人たちで、“いま一度！”というところです。

みなさま、よろしくをお願いいたします。（編集担当・湯口 真）

~~~~~

自立障害者グループ ペンギンの会

〒612-8411

京都市伏見区竹田久保町 62番地

足立ハイツ竹田1F 132号室

（地下鉄烏丸線 くいな橋駅 徒歩4分）

でんわ：075-755-8177（fax共）

メール：pengin.kai@gmail.com

ゆうびんふりかえ

郵便振替：01050-1-26459

ペンギンの会